

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 92

2019/03/22/Fri

真岡東中学校「修了式」

NHK、日本初のラジオ仮放送1925年

国号を「ニッポン」と称する案を提出1934年

ドイツで世界初のテレビ定期放送1935年

第1回全日本好プロボウリング選手権1970年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱい真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

本日…平成30年度「修了式」終わる！

1年生119名、2年生108名に「修了証書」を授与 新たな気持ちで「進級」へ向けての準備を！

本日、平成30年度修了式で修了証書を授与いたしました。それぞれの学年の修了、誠に、おめでとうございます。

式辞の要旨 修了(業)式…終業式で学期の終わりで長期休業の前の式。今日の修了式は1・2年生でやるべきことを全てやり、一人ひとりが学業を身に付け、心身共に次の学年に進む準備が完了=修めました！という意味。年1回の特別な式である。



①**反省**…まとめの3学期、春休みはその**まとめを生かす**こと。1年前の4月の進級や入学の際に立てた目標をこの1年でどれだけ達成できたかを**振り返る**。

②**感謝**…この1年間頑張れたのは多くの方々が見てくれたから。その方々に**感謝の心を伝える**機会であってほしい。人にだけでなく教科書やノート、ユニフォームや部活動の用具や楽器等、自分を成長させてくれた人以外の物にも感謝、ありがとうという気持ちを！悪戯書きなどしてないか。靴や上履き等が汚れていないか。今後も自分と共に歩み、自分の成長を手助けしてくれる大切な物。

③**大人**…感謝の気持ちを持てる=**精神的に大人になった**証拠。精神的に未熟だと自分のことしか考えられず、周囲の自分を支えてくれている人のこと、自分の成長を助けてくれる物のことなどに気づかず、人や物を大切にできない。自分は周囲から支えられているという**感謝の心があって初めて人は安心して次のステップへ**と進める。

④**新年度**…**3年生**=最高学年・リーダー・学校の顔！学校生活のすべてにおいてその**方向性や雰囲気**を決定する。3年生が一生懸命なら全校生が一生懸命になる。常に注目を浴び期待され大きな責任が伴い、態度と実行で模範を示すことが求められる。自分がどんな上級生にならついていく？どんなリーダーなら尊敬できる？自分の**理想像に一歩でも近づく**ために努力してほしい。立志式で賞賛された堂々とした誓いの言葉では、進路も受験生0学期も意識した内容で見事な成果を見せた。**真のリーダー**としての活躍を期待している。

2年生=4月に後輩を迎える。新入生にとって直接の先輩は2年生。新入生は3年生とともに2年生を手本とする。**先輩とはどうあるべきか？**自分が尊敬している先輩を思い浮かべてほしい。この1年間で本当に著しく成長を遂げた1年生。特に**やらされるのではなく自分からやろう**という行動ができるようになり**中学生のプロ**らしくなった！常に先を考え、次のリーダーとしてふさわしい自分を創り上げるよう期待してしている。



⑤**1秒の前進を**…0秒×30日=0秒、1秒×30日=30秒。

0分×30日=0分、1分×30日=30分。わずかでも前進すれば、0ではない。**進級する決意**を立てるとともに、事故等にくれぐれも注意し、命と時間を大切にして春休みを過ごしてほしい。

進級へ向かって確かなステップを！…③ (最終回)

—生活スタイルの確立を！→自分の生活を自分でつくり出すこと！—

- ・1年間を振り返って、どこがどう成長しただろうか？
- ・まだ足りない点(部分)はどこにあるのか？ その原因は何か？
- ・これから、何をどうがんばっていくのか？
- ・自分の考えは？ また、お父さん、お母さんの考えは？
- ・自分でできることは何か？ 親に助けてもらうことは何か？

春は進級や進学等を話題に親子でじっくり話し合う絶好の機会です。生活面(特にTV・ゲーム・スマホ)や学習・進路について家庭で話題を探ってみてくだ

さい。この時期なら、例えば上のような内容を参考にして家族で食事の際などを利用して気軽に語り合ってもらいたいのです。ただ漠然と「進級する」のではなく、こうした点からも一つの節を作るようにしていったらどうでしょうか。

◆保護者の皆様へ …先日、「夜勉強していると、すぐに眠くなってしまおう」と話していた生徒がいました。これは、生活スタイルが確立していないときの症状です。つまり、中学生に必要なことは「自分の生活を自分でつくり出すこと」なのです。その意味からも、上の点を確認しておく必要があります。「なんだ、こんなことか!」と思うかもしれませんが案外できて

いないものです。親が手を出し過ぎることも多いので、この点は十分に注意して“手を抜くこと”と“厳しくすること”をうまく使い分けていただくことも、親には必要かと思います。

生活リズムが崩れやすいとはいえ、自分の夢の実現に向けて生き方を見つめて新しい生活をつくり出していくのが思春期。自分なりの生活を自身の力だけでつくりあげていくことは容易ではありません。時には親の援助も必要です。温かく見守ってあげてください。

★生活リズムの確立が学力向上に★

- ①自分で起きる(起きられる)。
- ②朝食は必ずとってから登校する。
- ③毎日、きちんとトイレ(排便)へ行く。
- ④あいさつを元気にしっかりやる。



『校長室だより』今年度最終号にあたって…

生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信として、校長室から発信させていただきましたが、修了式とともに『校長室だより』も平成30年度最終号となりました。学校の様子を中心に、私の校長としての教育に対する願いや学校経営の考え方をお知らせしてきました。内容は生徒も保護者も教職員も読めるように…と、真岡東中学校に関係している方なら誰もが読者の対象と思って作成してきました。



この『校長室だより』が生徒・保護者・学校の三者をつなぎ、「地域に開かれた学校」に少しでも近づける一助となる心の通信であったのなら幸いです。この1年間、本校へのご協力、本誌のご愛読に感謝申し上げます。そして…

感謝と思い出いっぱい1年間…
ありがとうございました!

